

東京都地方独立行政法人評価委員会

令和7年度第2回試験研究分科会（持ち回り） 議事概要

1. 開催日時：令和7年7月7日（月）、同月8日（火）

2. 開催場所：持ち回り開催（ウェブ会議）

3. 出席委員：鈴木委員、大橋委員、桑田委員、豊田委員、宮川委員

4. 議題：

（1）地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
令和6年度業務実績評価について

（2）地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
第四期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績評価について

（3）地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
第五期中期目標の構成について

5. 議事概要：

【評価委員】

・中期目標構成の中の、組織体制及び運営について、世の流れとして、「人的資本経営」が重視されてきているため、都産技研においても取り入れた方が良い。職員のモチベーション向上やキャリアプランの育成等が重要である。

・都産技研が企業に対し役に立っていけるかというところは、やはり良い人材があつてこそだと思う。そういう意味でも、基盤研究での実績が上がっている点が評価できる。

・都産技研のプレゼンス向上が大事である。都産技研を知らない層に対し、どんな支援メニューがあるのか、どうやって支援にアプローチすればよいか、利用するとどんな効果があるのか、ということがわかるよう、情報発信されることを期待する。

・中小企業の技術の承継について、支援が行われることを望む。

・オープンイノベーションの促進が、企業間の交流連携・共同開発などにつながる。都産技研が企業間のつながりを促進することで、企業を強くしていくことをぜひ大事に取り組んでほしい。

・中小企業の自立を促していくことが、日本経済の発展にも寄与すると思う。そういった視点も大事に目標設定されることを望む。

・基盤研究については、中小企業に保有技術を利用してもらうことを目的として取り組んでいることを理解しているが、研究開発に関連した知的財産について、戦略的な観点からの管理も期待する。

・研究開発や共同研究をより優位なものにするためには、産業構造や中小企業の参入可能性等を分析し理解していくことが望ましい。

・評価内容について改善の余地がある項目や、企業から改善要望のある事項こそ大事に取り

組み、次年度の実績向上や、次期中期目標へとつなげてほしい。

- ・既に実績のある部分や評価されている部分こそ、より一層外部にアピールし、企業の利用拡大につなげていくことを期待する。

- ・情報発信の一環として、展示会なども活用し、企業とのコミュニケーションの機会を増やすと良い。

- ・IoTやロボット関連の共同研究等で実績を挙げているので、企業の人手不足解消やロボット化、省力化に対し都産技研が寄与できるような取組を今後も期待している。

【事務局】

- ・本分科会で頂戴した意見については、業務実績評価や第五期中期目標に反映させるよう調整し、第3回試験研究分科会で改めて提示する。